

呉市企業の今期の景況は、前期と比べてほぼ横ばいの推移

— 原材料価格が上昇するも、価格転嫁が難しい状況で、景気回復は鈍化 —

- ・ 調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・ 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など 10 項目について
- ・ 平成 29 年 6 月を前年同月と比較
- ・ 平成 29 年 7 月～9 月の先行き見通しを平成 29 年 6 月と比較
- ・ 調査時期 6 月中・下旬
- ・ 調査対象 呉市内の業種別主力企業 100 社 (回答 77 社、回収率 77%)

・ 6 月の景況を見ると、下の表の通り、
総合（全業種） D I（良い～悪い）は△6.8→△6.5と、全体では前期に比べ、+0.3とほぼ横ばいの推移。
業種別では、**製造業**は、約7.3割の企業が横ばいの回答で、D Iは△9.7→△13.3と悪化の動き。
非製造業は、約7.1割の企業が横ばいの回答で、D Iは△3.1→3.1と上昇した。

【D I 方式について】
 D I（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。

D I =（増加・好転等「良い」の回答割合）
 -（減少・悪化等「悪い」の回答割合）

・ 7～9 月の先行き見通しでは、
総合（全業種） D Iは△8.2→△6.5と、前回予測から+1.7と上昇で推移する見通し。
業種別では、**製造業**は、D Iは△7.3→△2.2と上昇する見通し。
非製造業は、D Iは△9.4→△12.5と下降する見通し。

総合（全業種）では、△6.8→△6.5と、呉市の景況は前期に比べ、+0.3とほぼ横ばいの推移。来期は△8.2→△6.5と、前回予測と比較して上昇する見通し。

業種別概況は、製造業は悪化の動きとなったが、非製造業は上昇する推移となった。6月調査による7～9月先行き DI 数値は、3月調査による4～6月先行き見通しに比べて製造業は改善する見通しであるが、非製造業は悪化の見通しで推移する予測。

呉市の景況は、製造業は悪化の動きで、非製造業は上昇の推移となり、全体として前期に比べほぼ横ばいの動きとなった。また、業種問わず人手不足の問題が見受けられた。製造業は、「原材料価格の上昇」「価格に転嫁できない」といった声が聞かれ、収益が悪化した原因となっている。造船関連は、「受注の減少」「船用部門は受注減」など、引き続き厳しい状況。建設業は、官公庁・民間からの受注が減少し、悪化となった。非製造業は、気温の上昇に伴い、衣料品や飲料関係などを中心に売上が堅調であるが、食料品等は仕入原価が上昇しており、回復は鈍化。

設備投資の実施状況や今後の予定については、「老朽化更新」「新製品事業化へ増強見込み」「引き続き投資を継続」といった声があり、全体として今後も前向きに設備投資を実施することが伺える。

来期の景況については、積極的に投資を実施する状況により一部明るさが見受けられるも、慢性的な人手不足や原材料価格の高騰などの懸念から、今後も慎重な見方が伺える。

業種別景況D I

	29年 3月実績	29年 6月実績	今 期			3月調 4～6月 見通し	6月調 7～9月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）	△6.8	△6.5	10.4	72.7	16.9	△8.2	△6.5	9.1	75.3	15.6
製造業	△9.7	△13.3	6.7	73.3	20.0	△7.3	△2.2	11.1	75.6	13.3
非製造業	△3.1	3.1	15.6	71.9	12.5	△9.4	△12.5	6.3	75.0	18.8
建設業	14.3	△14.3	0.0	85.7	14.3	0.0	△28.6	0.0	71.4	28.6
卸売業	△15.4	7.1	21.4	64.3	14.3	△23.1	△21.4	0.0	78.6	21.4
小売業	△12.5	16.7	16.7	83.3	0.0	12.5	16.7	16.7	83.3	0.0
サービス業	25.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0

呉市の業種DI(H27.6～H29.6)

